



街を彩るマリーゴールド。届け、私たちの思い！

～地域に笑顔と元気を届けます、生徒たちの思いが街中に～

4月からの農業の授業で、1年次生徒全員が協力し、種から育てた苗をポリポットに植え替え、花が咲くまで大切に栽培してきました。「育てたマリーゴールドが地域を明るく照らし、人々を見守ってくれるように」と、生徒たちの温かい思いが込められています。

6月下旬になると、てっぺんにオレンジ色やレモン色の太ぶりの花が咲き始めました。まるで「地域の皆さんにお届けする準備が整いました！」とアピールしているかのようです。

7月に入り、愛情いっぱい育てたマリーゴールド、いよいよ地域へと旅立ち、お披露目となりました。

農業を学ぶ2年次生徒が、「たかはぎ認定こども園」を訪れ、園児たちと花壇へ苗を定植。放課後を利用して、希望生徒が、高萩市内の出身小中学校や市役所、警察署、高萩駅、商店など、計20カ所に、マリーゴールドを植えたプランターを配付。

10月頃まで、地域の様々な場所で、次々と新しい綺麗な花が咲いてくれますように！



お披露目を待つ マリーゴールド



園児と共に、花壇づくり



高萩市長さんへ



高萩警察署長さんへ



JR 高萩駅長さんへ



高萩中学校の緑化委員さんへ